



アマゴつかみの時、アマゴが尾びれをびちびちさせて驚きました。焼けたアマゴを食べた時は、給食ではなかなか食べられない味で、とてもおいしかったけれど、心が苦しかったです。なかなかできない体験でした。

小学校では、今回泊まることができなくて、残念でした。中学校では、晩も泊まって、女の子だけの女子会などができたらいいなと思います。

お箸作りでは、初めてかんなどやすりを使いました。こんな道具でおはしが作れることが分かり、もっともっと、かんを使って、物を作りたいです。

アマゴつかみの時、生き生きしているアマゴを見ていると「がんばって生きてたのにごめんね」って思いました。お箸作りでは「こうやって間伐材を使い、道具ができることはすごいなあ」と思いました。

## 児童の感想 (抜粋)

葛川の中を歩いているといろいろな発見(フィールドサイン)があって、へびの抜け殻を見つけて「自然だなあ」と思いました。アマゴを串で刺すのが切なくて、怖かったです。葛川には唐崎に無い良さがあると感じました。初めての体験でした。

アマゴに串を刺す時、怖くてたくさんの友だちや先生に手伝ってもらいました。うれしかったです。アマゴを見ていると、道徳でやった「声を聞かせて」で学んだみたいに、アマゴが「息ができないよ」「こわいよ～」「助けて～」って行っているように感じました。疲れました。

串を刺す時、手伝ってくれた時など、「ありがとうございます」って言えなかったけれど、そのおかげでアマゴに串を刺すことができました。アマゴの目を見ていると、アマゴの悲しさが伝わってきたように思いました。活動の説明はとても分かりやすかったです。中学校で来るときは、泊まってみたいです。

